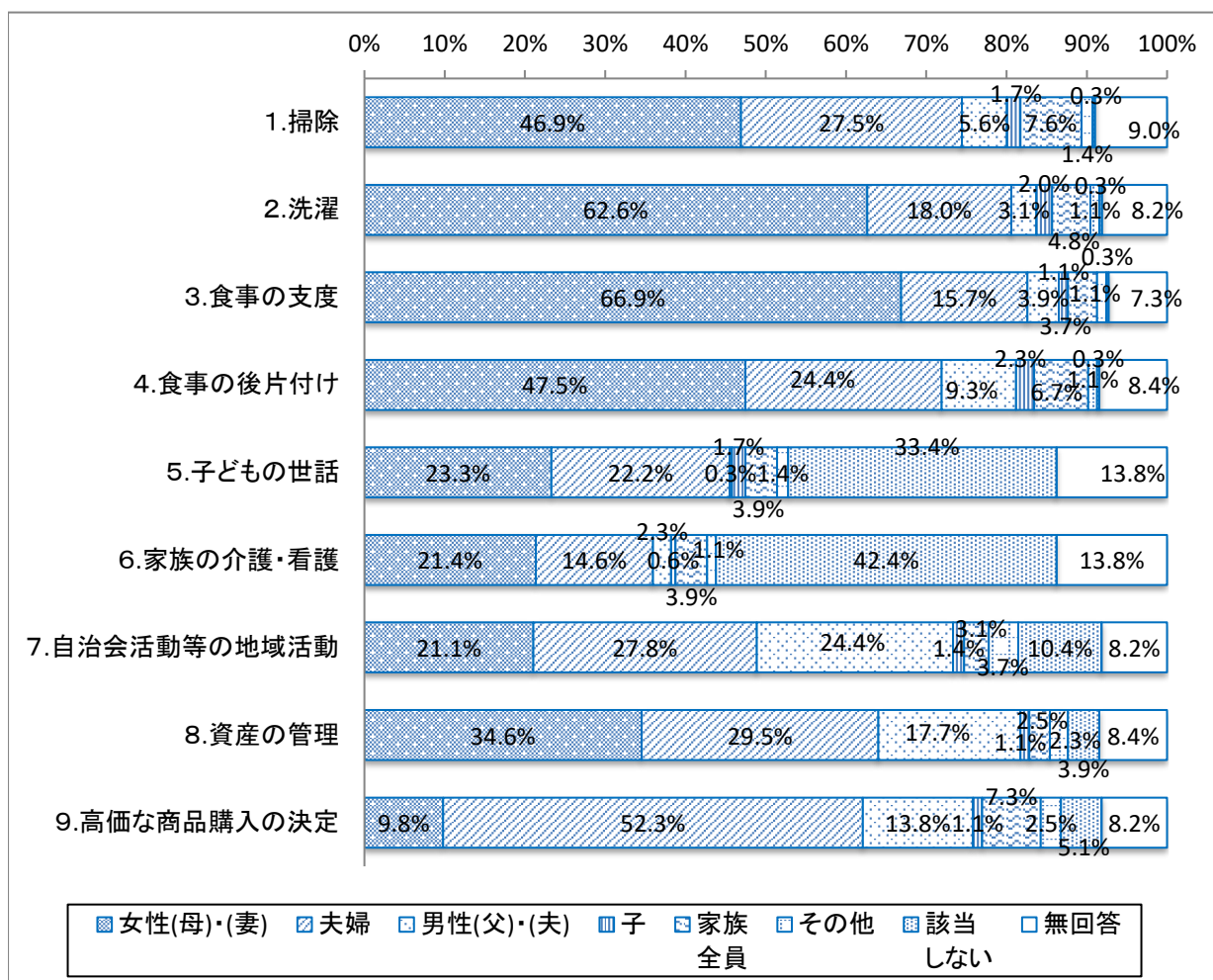


【問10】普段の生活において次の事柄をあなたのご家庭では、主にどなたが行っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

項目	女性(母)・(妻)	夫婦	男性(父)・(夫)	子	家族全員	その他	該当しない	無回答
1 掃除	46.9%	27.5%	5.6%	1.7%	7.6%	1.4%	0.3%	9.0%
2 洗濯	62.6%	18.0%	3.1%	2.0%	4.8%	1.1%	0.3%	8.2%
3 食事の支度	66.9%	15.7%	3.9%	1.1%	3.7%	1.1%	0.3%	7.3%
4 食事の後片付け	47.5%	24.4%	9.3%	2.3%	6.7%	1.1%	0.3%	8.4%
5 子どもの世話	23.3%	22.2%	0.3%	1.7%	3.9%	1.4%	33.4%	13.8%
6 家族の介護・看護	21.4%	14.6%	2.3%	0.6%	3.9%	1.1%	42.4%	13.8%
7 自治会活動等の地域活動	21.1%	27.8%	24.4%	1.4%	3.1%	3.7%	10.4%	8.2%
8 資産の管理	34.6%	29.5%	17.7%	1.1%	2.5%	2.3%	3.9%	8.4%
9 高価な商品購入の決定	9.8%	52.3%	13.8%	1.1%	7.3%	2.5%	5.1%	8.2%



《分析》

- ◆全体として、ほぼすべての項目で、「女性(母・妻)」と「夫婦」に割合が集中している。
- ◆「女性(母・妻)」の割合は、『食事の支度』(66.9%) (前回67.7%)、『洗濯』(62.6%) (前回62.2%)、『食事の後片付け』(47.5%) (前回47.9%)、『掃除』(46.9%) (前回46.7%)の順で多くなっており、前回調査とほぼ変わらない。
- ◆「夫婦」の割合は、『高価な商品購入の決定』(52.3%) (前回42.7%)、『資産の管理』(29.5%) (前回28.1%)、『自治会活動等の地域活動』(27.8%) (前回21.3%)、『掃除』(27.5%) (前回24.1%)の順で多くなっている。
- ◆「男性(父・夫)」の割合は、『自治会活動等の地域活動』(24.4%) (前回26.5%)、『資産の管理』(17.7%) (前回19.5%)、『高価な商品購入の決定』(13.8%) (前回16.5%)の順で多くなっており、前回調査と同じ順になっている。
- ◆「子」・「その他」の割合は、前回同様10%を超えている項目がない。

IV 仕事と子育て・介護・家庭生活・地域活動の両立について

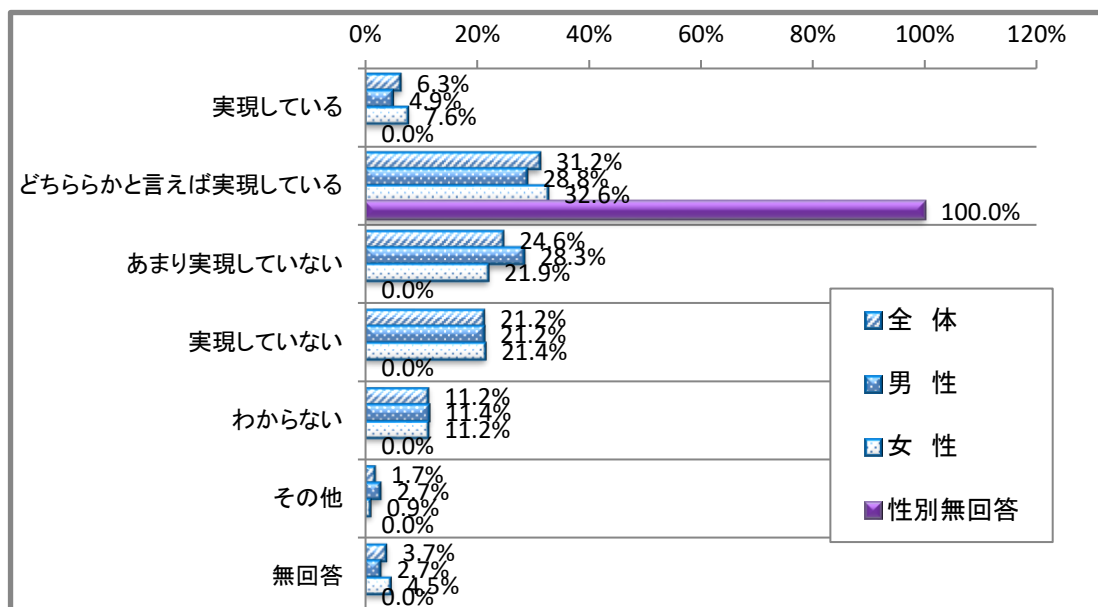
【問11】ワークライフ・バランスについて

(1)理想とする「仕事」と「生活」の割合をご記入ください。

仕事	生活	全体 (人)	男性 (人)	女性 (人)	性別無回答(人)				
0.0%	100.0%	0.7%	3	0.5%	1	0.9%	2	0.0%	0
20.0%	80.0%	1.2%	5	0.5%	1	1.8%	4	0.0%	0
25.0%	75.0%	0.2%	1	0.5%	1	0.0%	0	0.0%	0
30.0%	70.0%	9.5%	39	7.6%	14	10.3%	23	100.0%	2
35.0%	65.0%	1.0%	4	1.6%	3	0.4%	1	0.0%	0
40.0%	60.0%	17.1%	70	12.5%	23	21.0%	47	0.0%	0
45.0%	55.0%	0.5%	2	1.1%	2	0.0%	0	0.0%	0
50.0%	50.0%	39.8%	163	35.9%	66	43.3%	97	0.0%	0
55.0%	45.0%	0.5%	2	0.5%	1	0.4%	1	0.0%	0
60.0%	40.0%	12.9%	53	17.4%	32	9.4%	21	0.0%	0
65.0%	35.0%	0.2%	1	0.5%	1	0.0%	0	0.0%	0
70.0%	30.0%	8.0%	33	13.0%	24	4.0%	9	0.0%	0
80.0%	20.0%	1.5%	6	2.2%	4	0.9%	2	0.0%	0
90.0%	10.0%	0.2%	1	0.5%	1	0.0%	0	0.0%	0
無回答		6.6%	27	5.4%	10	7.6%	17	0.0%	0

(2)理想とするバランスは実現していますか。

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 実現している	6.3%	4.9%	7.6%	0.0%
2 どちらかと言えば実現している	31.2%	28.8%	32.6%	100.0%
3 あまり実現していない	24.6%	28.3%	21.9%	0.0%
4 実現していない	21.2%	21.2%	21.4%	0.0%
5 わからない	11.2%	11.4%	11.2%	0.0%
6 その他	1.7%	2.7%	0.9%	0.0%
7 無回答	3.7%	2.7%	4.5%	0.0%



《分析》

- ◆(1)理想とする「仕事」と「生活」の割合は、全体および男女別でも、「仕事50%」「生活50%」が30%を超えて多くなっている。
- ◆(2)理想とするバランスの実現については、「実現している」と「どちらかと言えば実現している」を合わせた割合が37.5%(前回29.2%)、「実現していない」と「あまり実現していない」を合わせた割合が45.8%(前回34.5%)となっており、8.3%の差異が出ている。

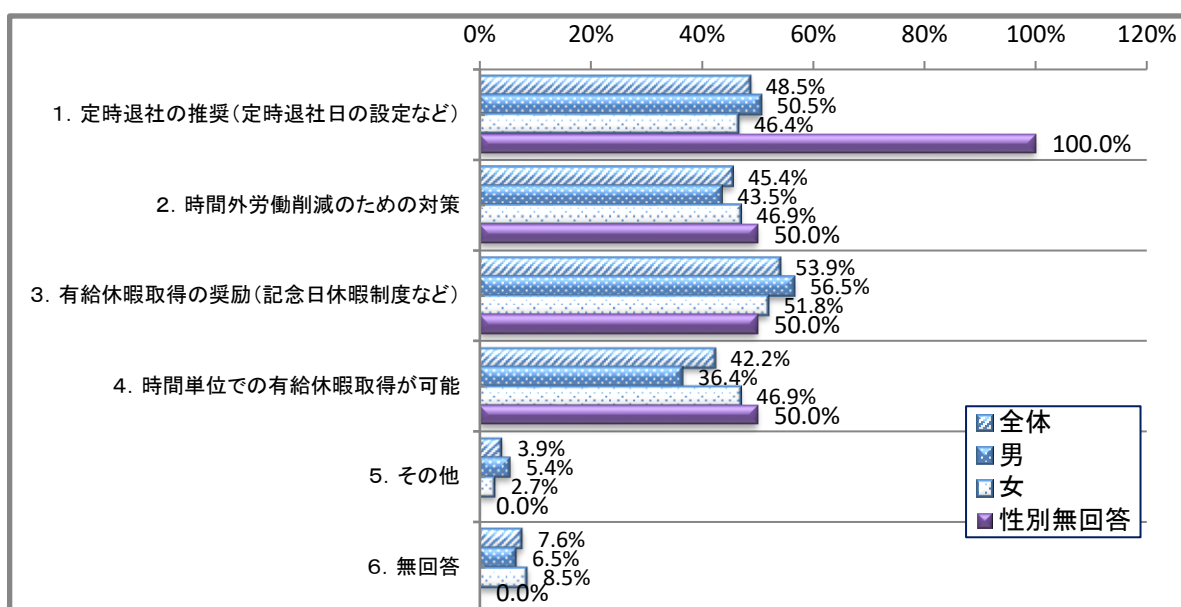
女性では、「実現している」と「どちらかと言えば実現している」を合わせた割合が40.2%(前回24.5%)となり、前回より15.7%増となっている。

男性では、「実現していない」と「あまり実現していない」を合わせた割合が49.5%(前回31.8%)となっており、前回より17.7%増となっている。

【問12】あなたは、仕事と子育て・介護・家庭生活・地域活動を両立するために、職場や地域、行政においてどのような取り組みが進めばいいと思いますか。
(〇はいくつでも)

(1)労働時間の抑制や休暇の取得促進について

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	定時退社の推奨(定時退社日の設定など)	48.5%	50.5%	46.4%	100.0%
2	時間外労働削減のための対策	45.4%	43.5%	46.9%	50.0%
3	有給休暇取得の奨励(記念日休暇制度など)	53.9%	56.5%	51.8%	50.0%
4	時間単位での有給休暇取得が可能	42.2%	36.4%	46.9%	50.0%
5	その他	3.9%	5.4%	2.7%	0.0%
6	無回答	7.6%	6.5%	8.5%	0.0%

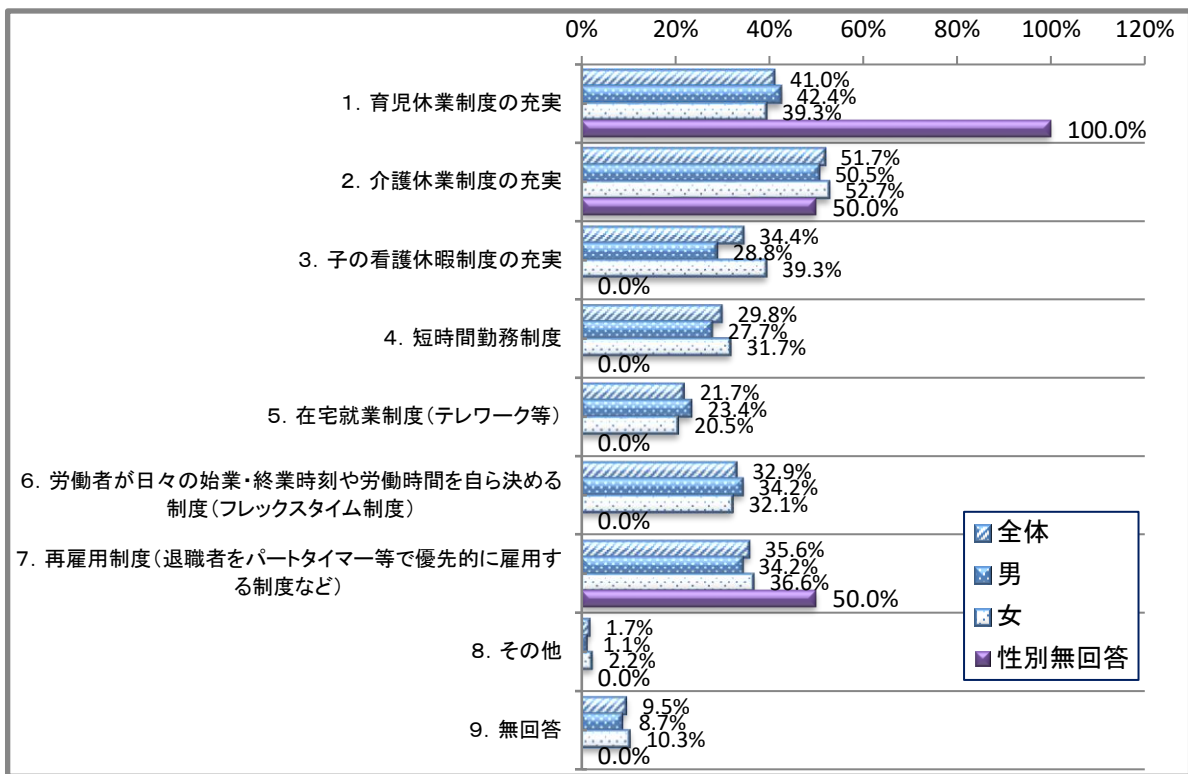


《分析》

- ◆全体として、「有給休暇取得の奨励(記念日休暇制度など)」の割合が53.9%と、多くなっている。
- ◆次いで割合が多いのは、女性では「時間外労働削減のための対策」(46.9%)、「時間単位での有給休暇取得が可能」(46.9%)となっている。
 男性では、「定時退社の推奨(定時退社日の設定など)」(50.5%)、「時間外労働削減のための対策」(43.5%)となっている。

(2) 制度の整備について

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	育児休業制度の充実	41.0%	42.4%	39.3%	100.0%
2	介護休業制度の充実	51.7%	50.5%	52.7%	50.0%
3	子の看護休暇制度の充実	34.4%	28.8%	39.3%	0.0%
4	短時間勤務制度	29.8%	27.7%	31.7%	0.0%
5	在宅就業制度(テレワーク等)	21.7%	23.4%	20.5%	0.0%
6	労働者が日々の始業・終業時刻や労働時間を自ら決める制度(フレックスタイム制度)	32.9%	34.2%	32.1%	0.0%
7	再雇用制度(退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度など)	35.6%	34.2%	36.6%	50.0%
8	その他	1.7%	1.1%	2.2%	0.0%
9	無回答	9.5%	8.7%	10.3%	0.0%

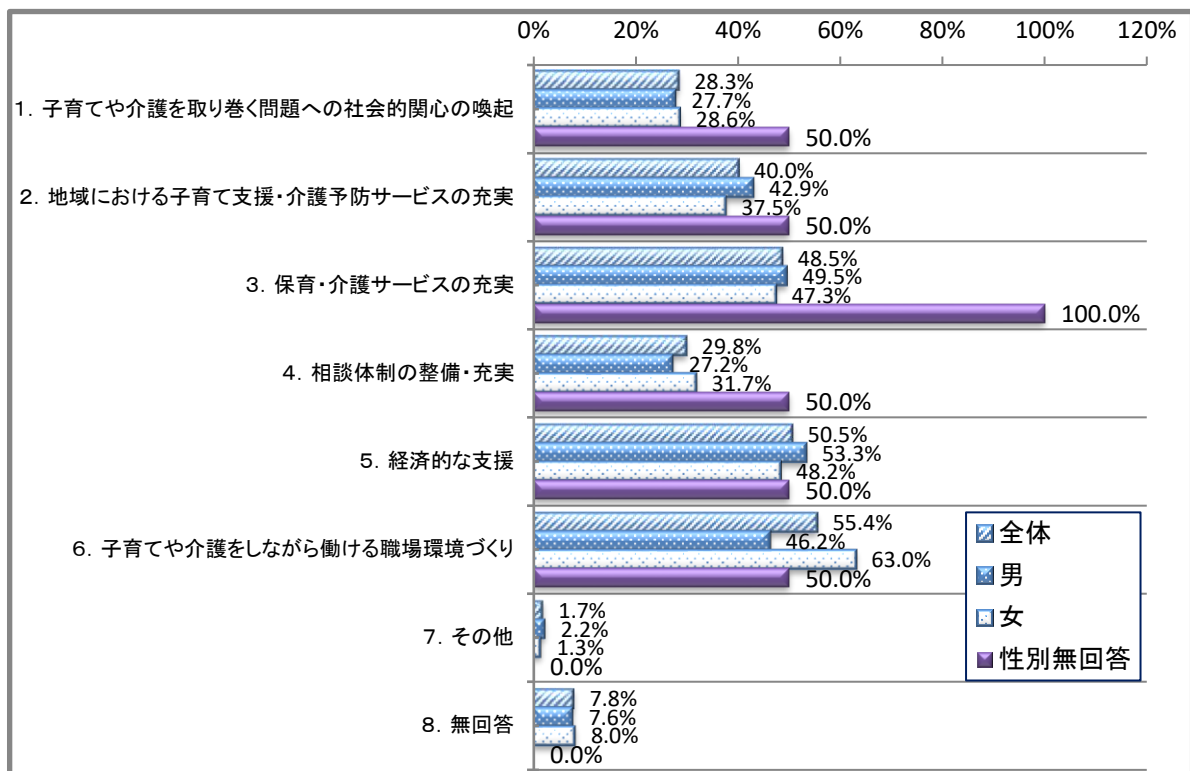


《分析》

- ◆全体として、「介護休業制度の充実」の割合が51.7%と、多くなっている。
- ◆次いで割合が多いのは、女性では「育児休業制度の充実」(39.3%)、「子の看護休暇制度の充実」(39.3%)となっている。
男性では、「育児休業制度の充実」(42.4%)、「労働者が日々の始業・終業時刻や労働時間を自ら決める制度(フレックスタイム制度)」(34.2%)、再雇用制度(34.2%)となっている。

(3)子育てや介護について

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	子育てや介護を取り巻く問題への社会的関心の喚起	28.3%	27.7%	28.6%	50.0%
2	地域における子育て支援・介護予防サービスの充実	40.0%	42.9%	37.5%	50.0%
3	保育・介護サービスの充実	48.5%	49.5%	47.3%	100.0%
4	相談体制の整備・充実	29.8%	27.2%	31.7%	50.0%
5	経済的な支援	50.5%	53.3%	48.2%	50.0%
6	子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり	55.4%	46.2%	63.0%	50.0%
7	その他	1.7%	2.2%	1.3%	0.0%
8	無回答	7.8%	7.6%	8.0%	0.0%

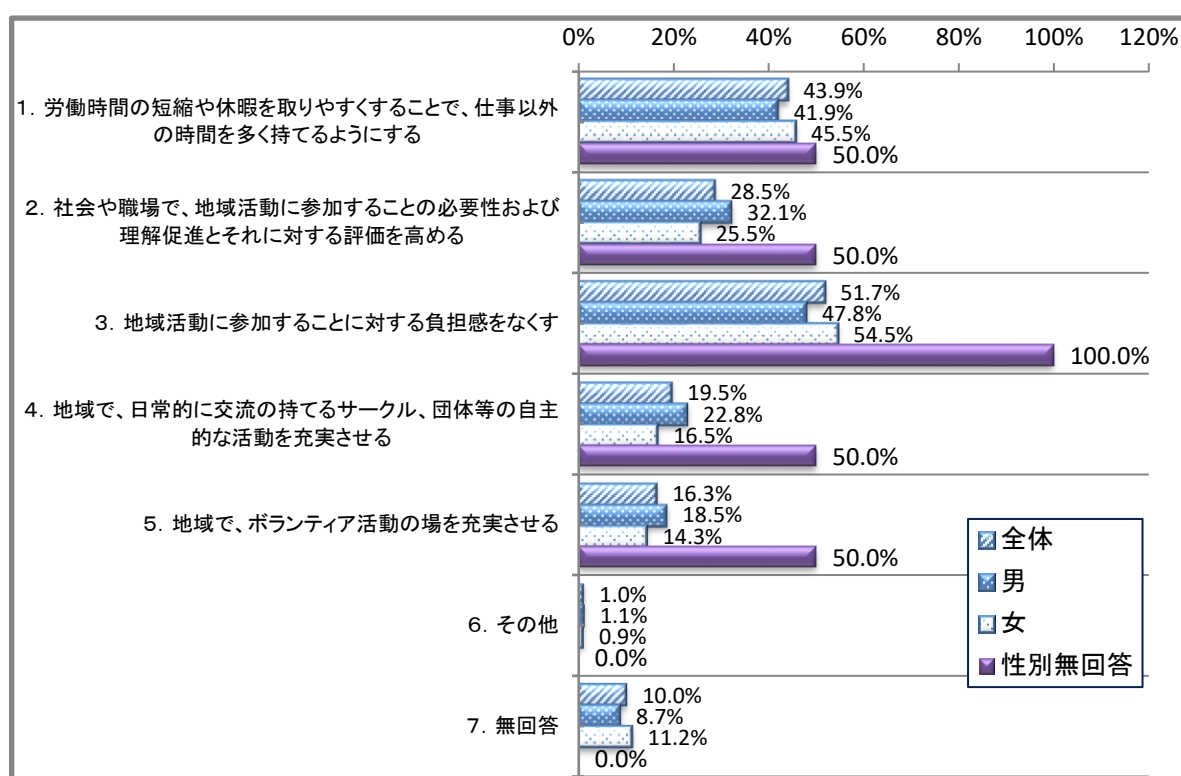


《分析》

- ◆全体として、「子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり」の割合が55.4%と、多くなっている。
- ◆女性では「子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり」(63.0%)が、突出して多く、次に「経済的な支援」(48.2%)となっている。
- 男性では、「経済的な支援」(53.3%)、「保育・介護サービスの充実」(49.5%)となっている。

(4)地域活動への積極的な参加について

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	労働時間の短縮や休暇を取りやすくすることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする	43.9%	41.9%	45.5%	50.0%
2	社会や職場で、地域活動に参加することの必要性および理解促進とそれに対する評価を高める	28.5%	32.1%	25.5%	50.0%
3	地域活動に参加することに対する負担感をなくす	51.7%	47.8%	54.5%	100.0%
4	地域で、日常的に交流の持てるサークル、団体等の自主的な活動を充実させる	19.5%	22.8%	16.5%	50.0%
5	地域で、ボランティア活動の場を充実させる	16.3%	18.5%	14.3%	50.0%
6	その他	1.0%	1.1%	0.9%	0.0%
7	無回答	10.0%	8.7%	11.2%	0.0%



《分析》

- ◆全体、男性、女性ともに、「地域活動に参加することに対する負担感をなくす」の割合が多くなっている。次に「労働時間の短縮や休暇を取りやすくすることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする」の割合が多く、どちらも40%以上となっている。

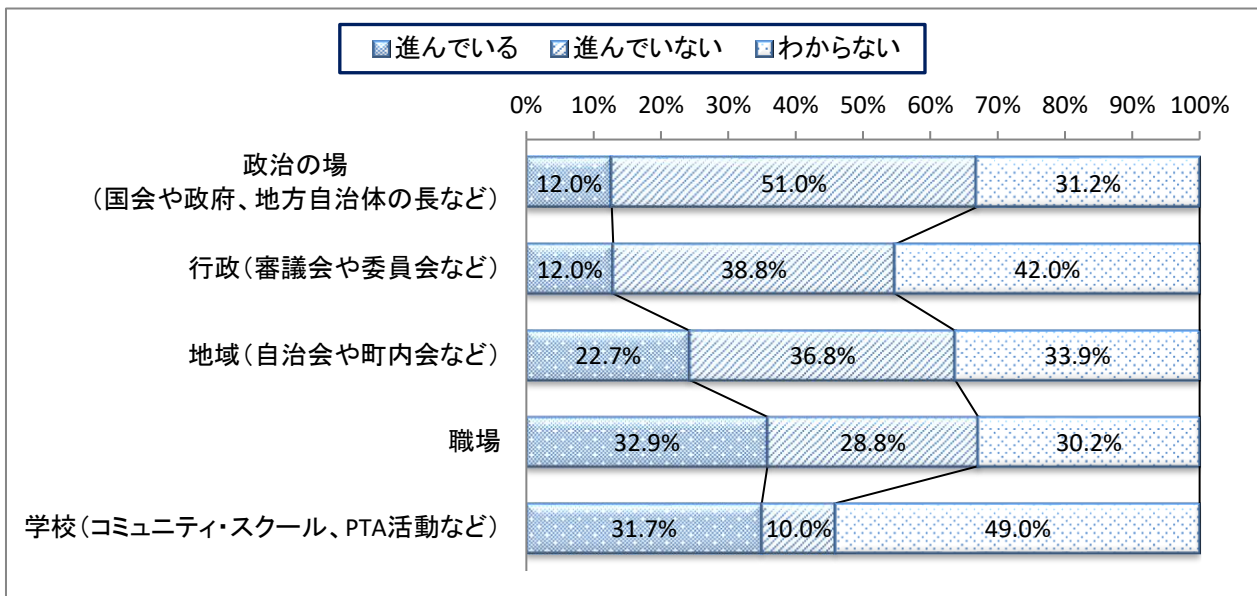
V 政策・方針決定の場への参画について

【問13】 次の場において、女性の参画が進んでいるかどうかお答えください。

また、「進んでいない」と回答された方は、下記の「主な理由」に番号を記入してください。(○はそれぞれ1つ、理由もそれぞれ1つ)

※注:「無回答」の方は除いています。

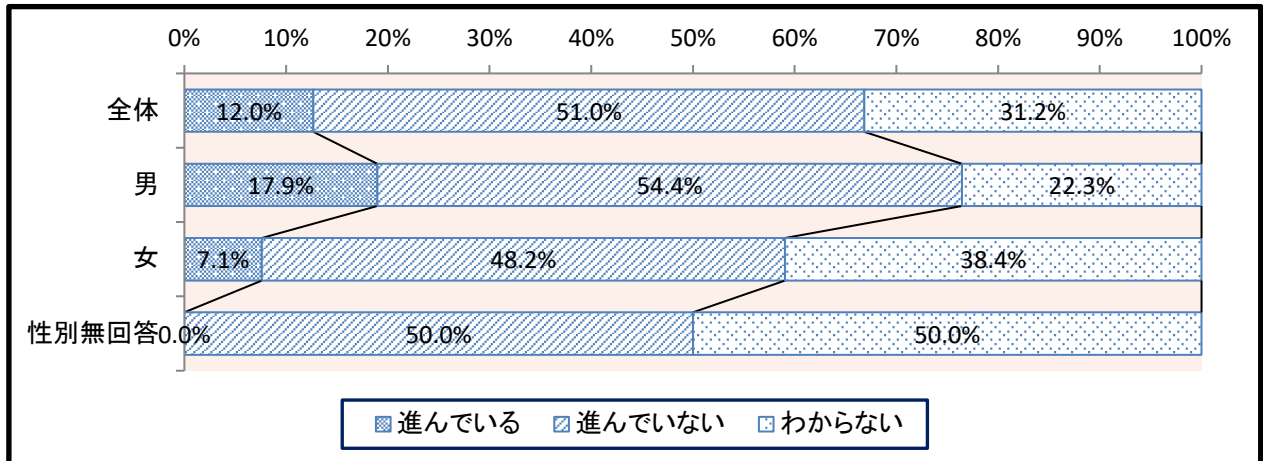
	項目	進んでいる	進んでいない	わからない
1	政治の場 (国会や政府、地方自治体の長など)	12.0%	51.0%	31.2%
2	行政(審議会や委員会など)	12.0%	38.8%	42.0%
3	地域(自治会や町内会など)	22.7%	36.8%	33.9%
4	職場	32.9%	28.8%	30.2%
5	学校(コミュニティ・スクール、PTA活動など)	31.7%	10.0%	49.0%



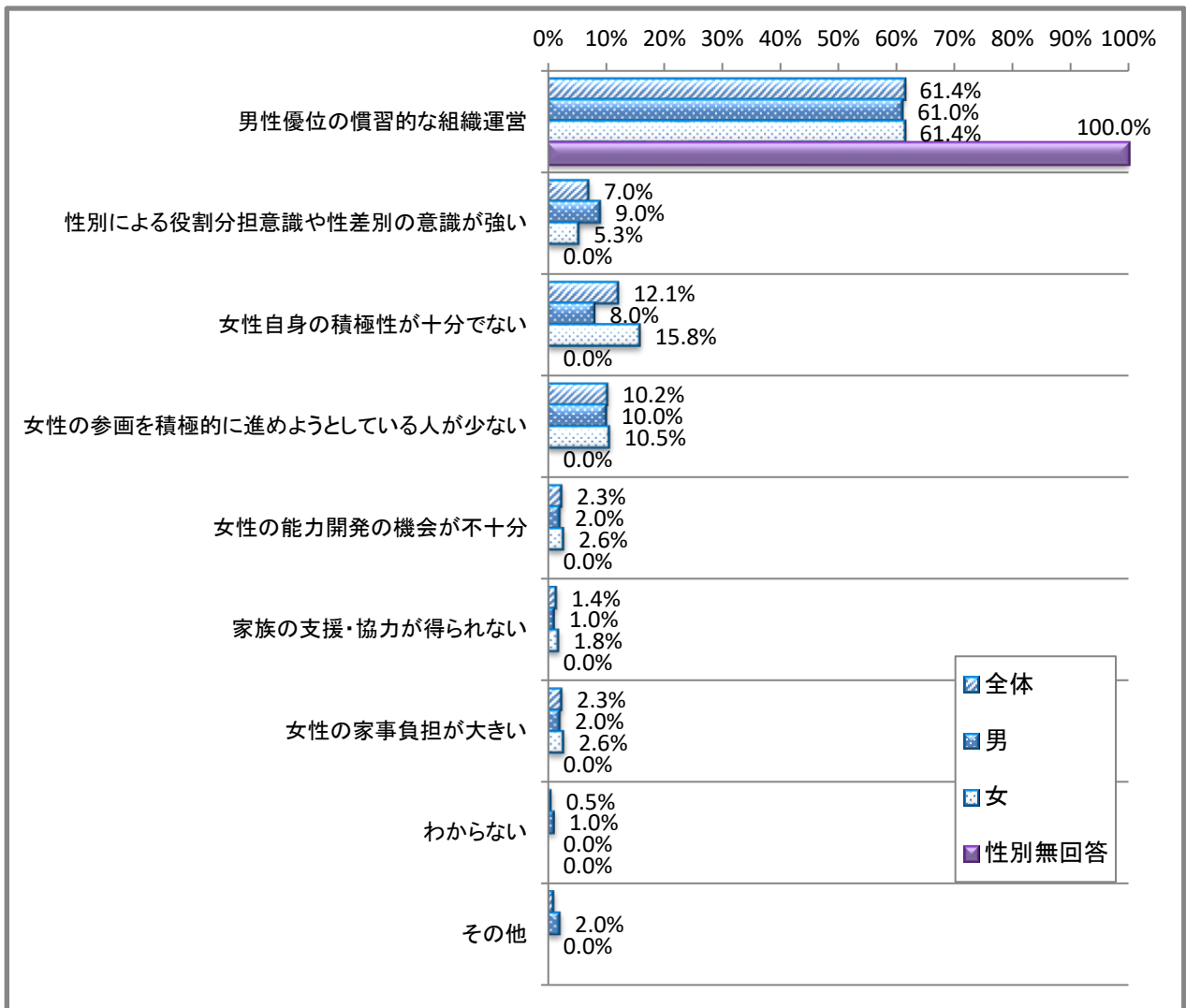
《分析》

◆全体として、『進んでいる』の割合は「職場」(32.9%) (前回25.9%)が最も多くなっており、『進んでいない』は「政治の場」(51.0%) (前回33.2%)が最も多くなっている。

1 政治の場

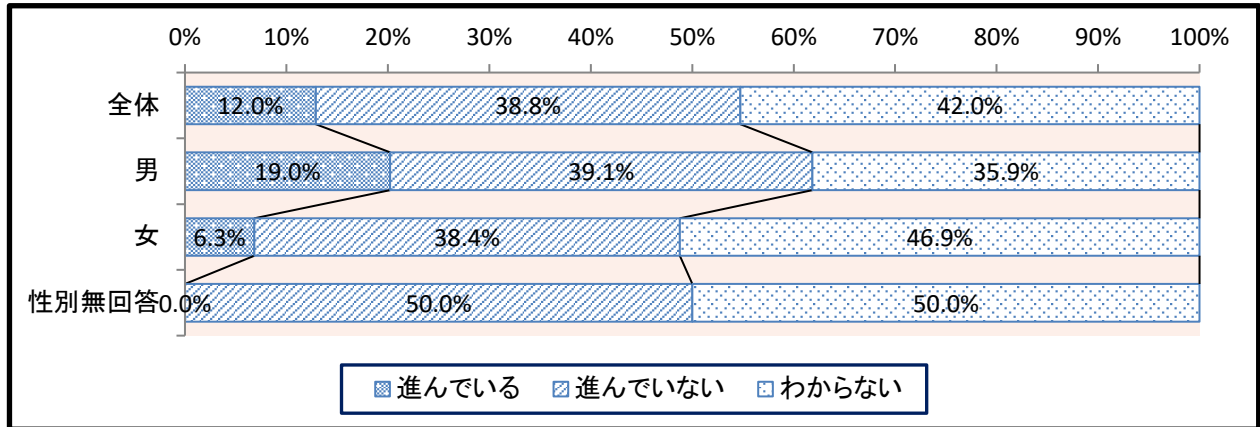


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

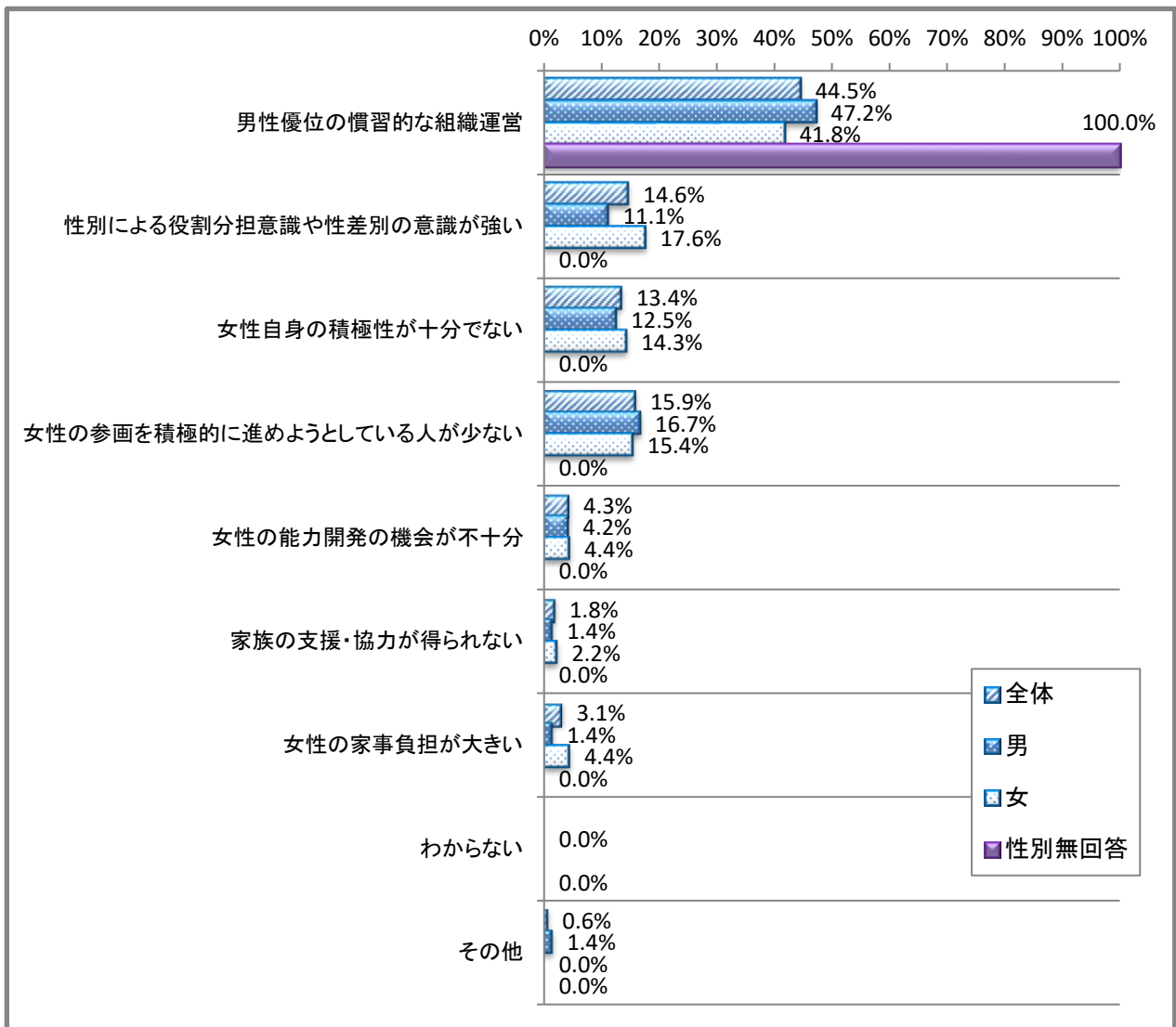


《分析》

◆全体として、『進んでいない』理由は、前回調査と同様に、「男性優位の慣習的な組織運営」(61.4%)となっている。

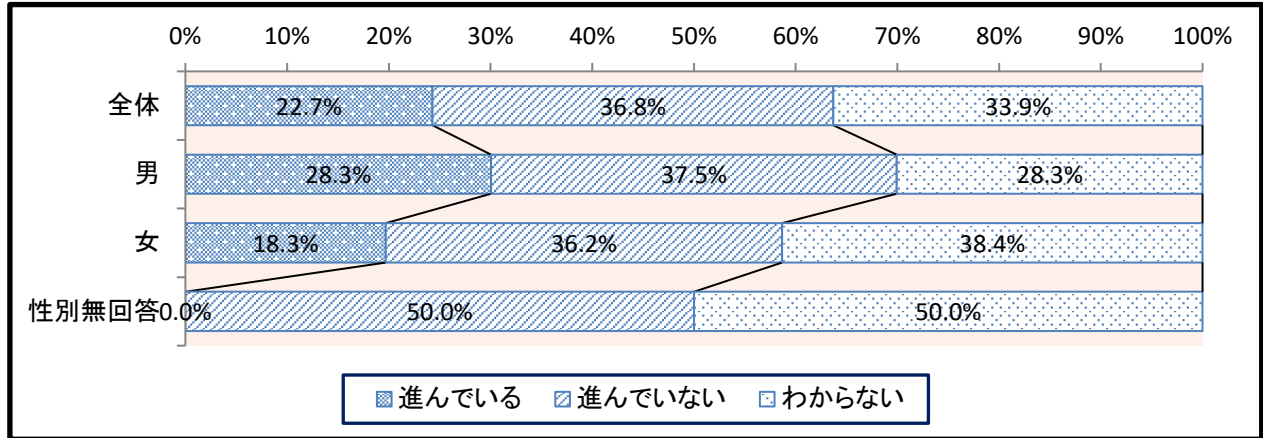


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

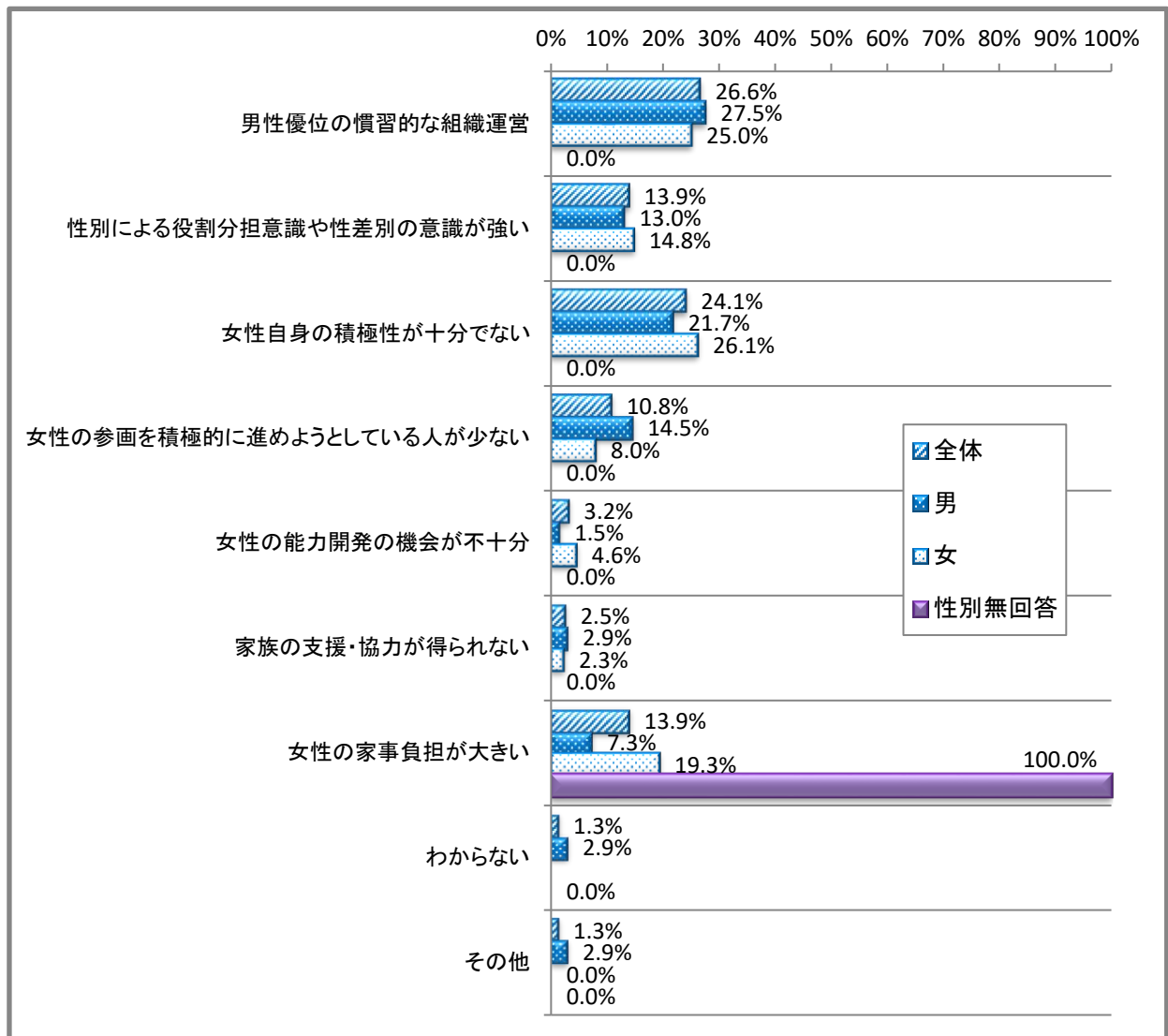


《分析》

- ◆全体として、『進んでいない』理由は、前回調査と同様に「男性優位の慣習的な組織運営」(44.5%)となっている。

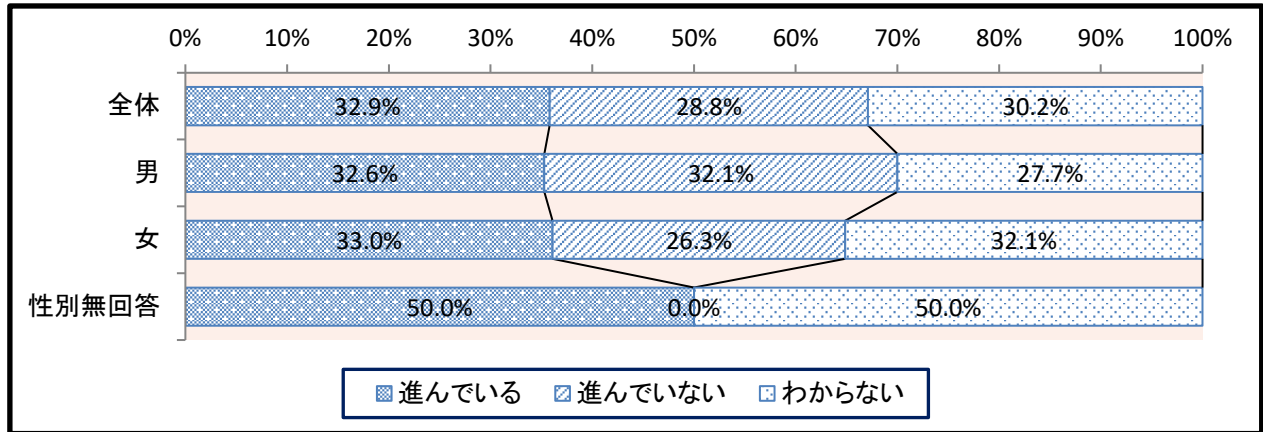


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

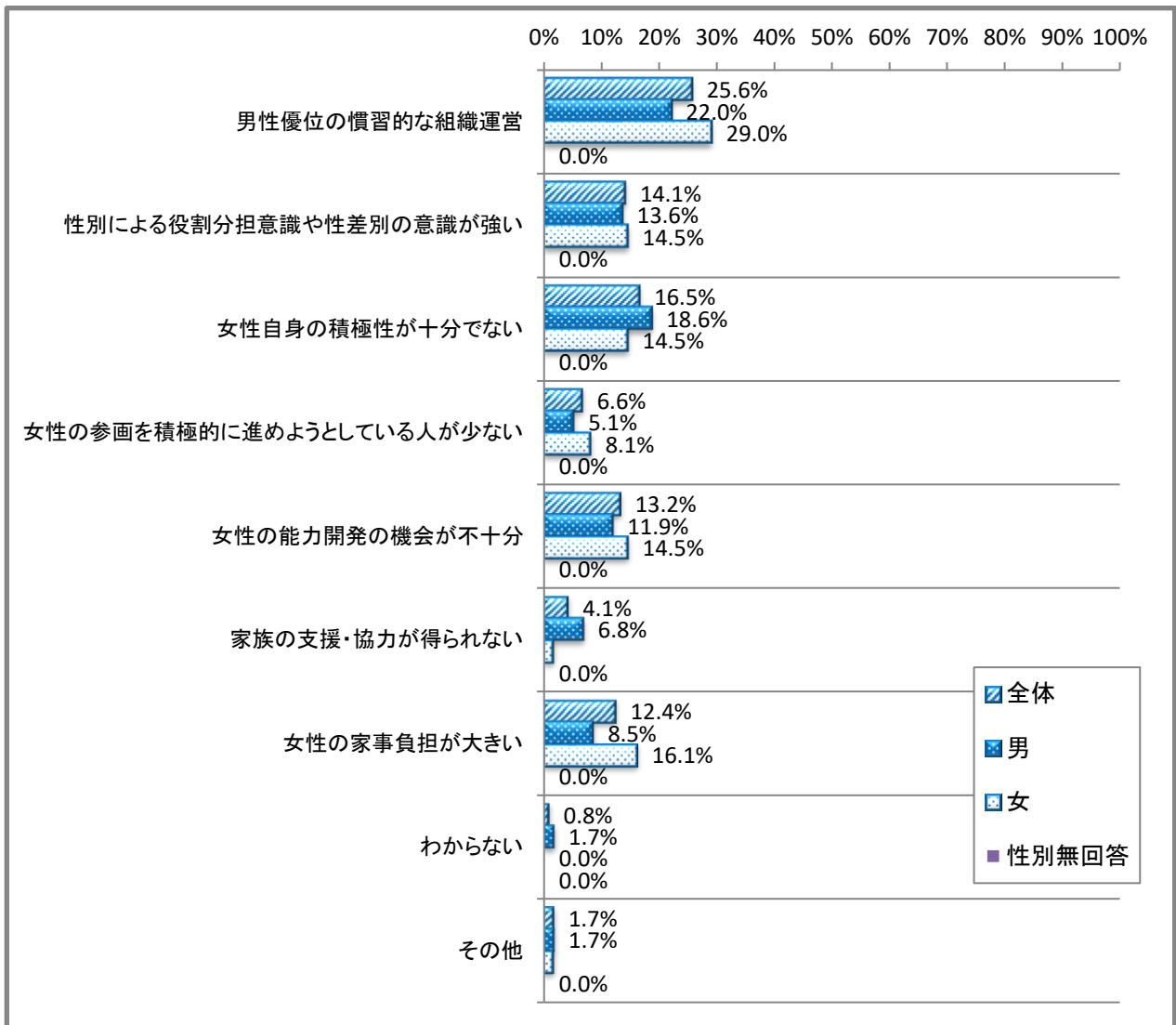


《分析》

- ◆『進んでいない』理由は、女性は「女性自身の積極性が十分でない」(26.1%)で最も多くなっており、男性は「男性優位の慣習的な組織運営」(27.5%)で最も多くなっている。

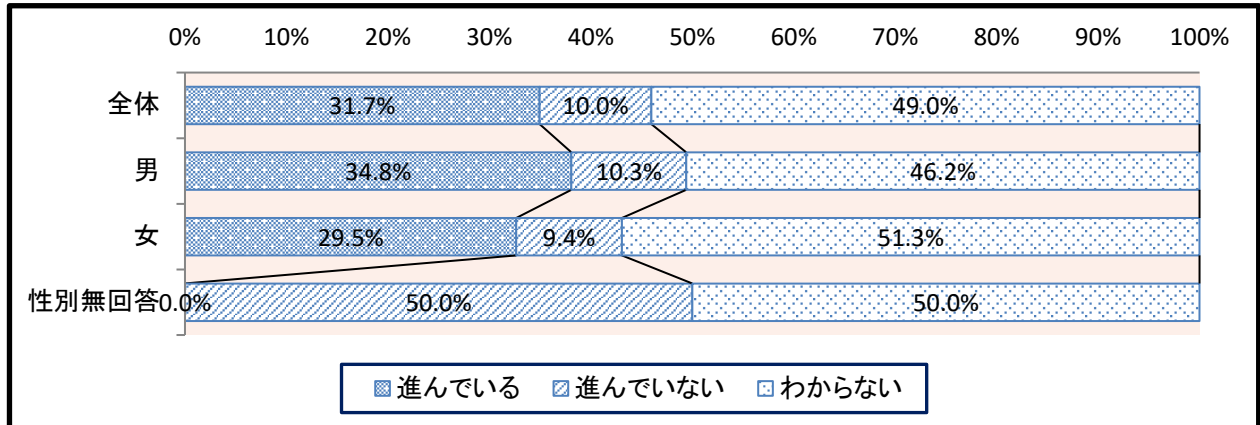


◎「進んでいない」と回答された方の主な理由

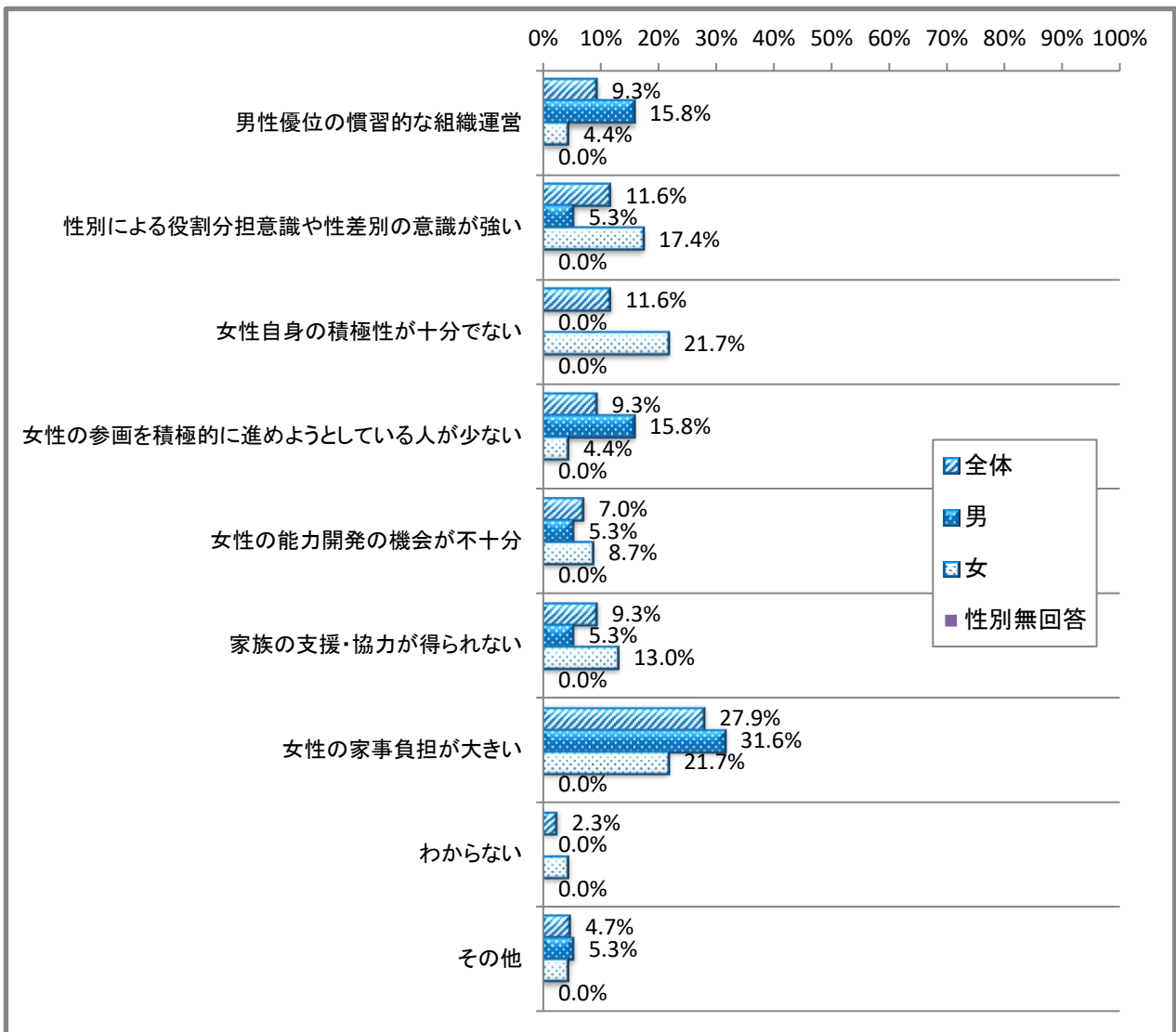


《分析》

- ◆全体として、『進んでいない』理由は、前回調査と同様に「男性優位の慣習的な組織運営」(25.6%)となっている。



◎「進んでいない」と回答された方の主な理由



《分析》

◆全体として、『進んでいない』理由は、「女性の家事負担が大きい」(27.9%)となっている。

VI 配偶者や恋人等から受ける、暴力等について

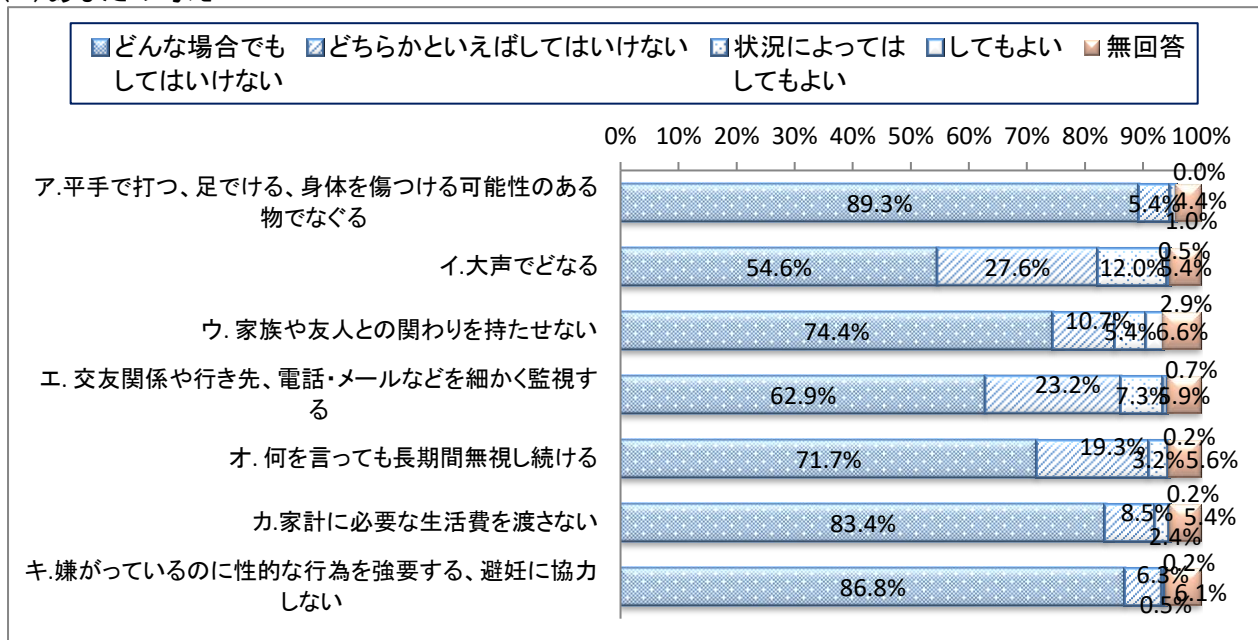
【問14】配偶者、パートナー、交際相手から、次の行為をあなたが受けることについて伺います。

(1)あなたの考えに近いものはどれですか。

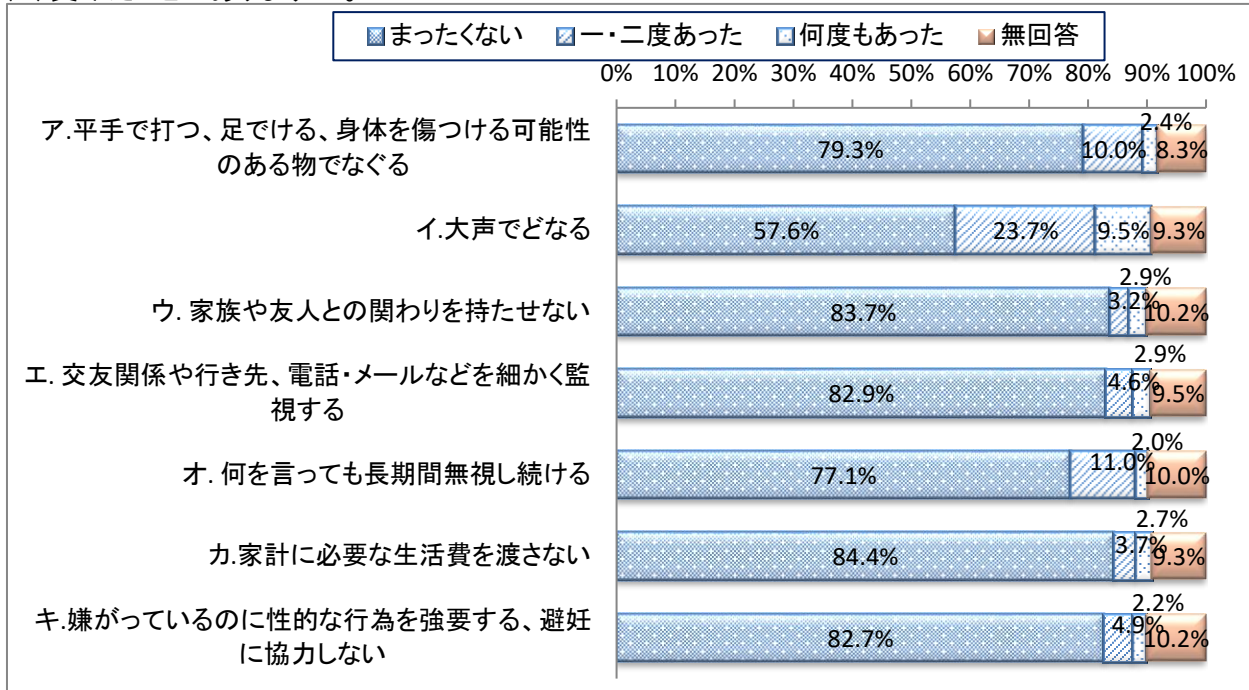
(2)配偶者やパートナー、交際相手から受けたことがありますか。

項目	(1)あなたの考え					(2)受けたことがありますか。			
	しど てん はな い場 合な いも	いば ど し て は か い け い な え	し 状 況 に よ っ て は	し て も よ い	無 回 答	ま っ た く な い	一 ・ 二 度 あ っ た	何 度 も あ っ た	無 回 答
ア	89.3%	5.4%	1.0%	0.0%	4.4%	79.3%	10.0%	2.4%	8.3%
イ	54.6%	27.6%	12.0%	0.5%	5.4%	57.6%	23.7%	9.5%	9.3%
ウ	74.4%	10.7%	5.4%	2.9%	6.6%	83.7%	3.2%	2.9%	10.2%
エ	62.9%	23.2%	7.3%	0.7%	5.9%	82.9%	4.6%	2.9%	9.5%
オ	71.7%	19.3%	3.2%	0.2%	5.6%	77.1%	11.0%	2.0%	10.0%
カ	83.4%	8.5%	2.4%	0.2%	5.4%	84.4%	3.7%	2.7%	9.3%
キ	86.8%	6.3%	0.5%	0.2%	6.1%	82.7%	4.9%	2.2%	10.2%

(1)あなたの考え



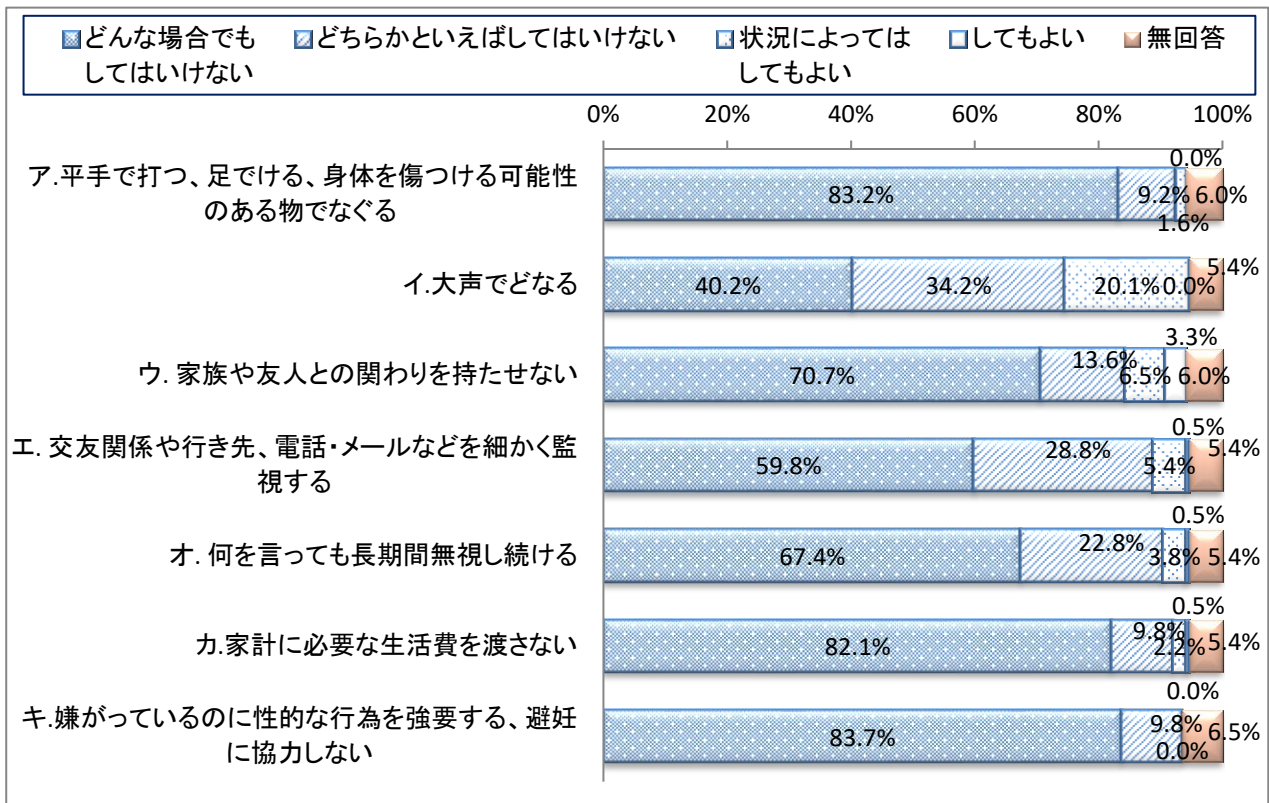
(2) 受けたことがありますか。



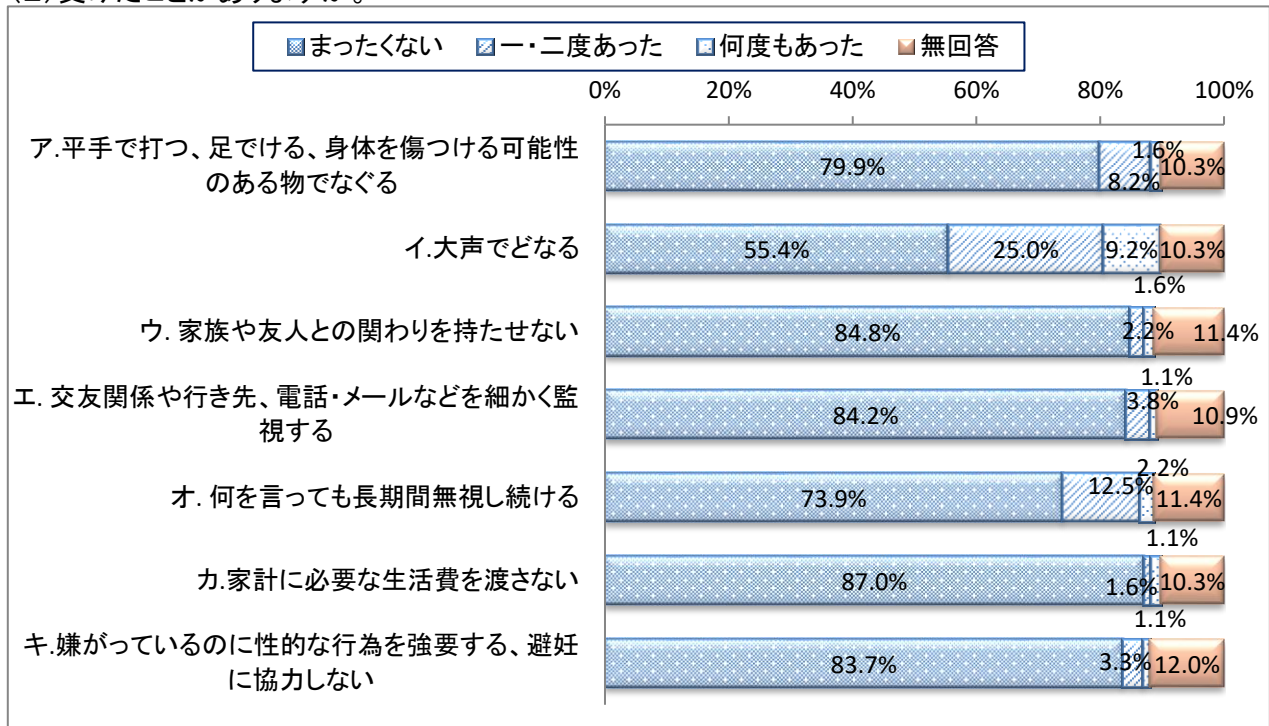
★男性

項目	(1)あなたの考え					(2)受けたことがありますか。			
	しどんはいい場合でもない	いぼどしちてはかといけいなえ	状況によつては	してもよい	無回答	まったくくない	一・二度あった	何度もあった	無回答
ア 平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなぐる	83.2%	9.2%	1.6%	0.0%	6.0%	79.9%	8.2%	1.6%	10.3%
イ 大声でどなる	40.2%	34.2%	20.1%	0.0%	5.4%	55.4%	25.0%	9.2%	10.3%
ウ 家族や友人との関わりを持たせない	70.7%	13.6%	6.5%	3.3%	6.0%	84.8%	2.2%	1.6%	11.4%
エ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	59.8%	28.8%	5.4%	0.5%	5.4%	84.2%	3.8%	1.1%	10.9%
オ 何を言っても長期間無視し続ける	67.4%	22.8%	3.8%	0.5%	5.4%	73.9%	12.5%	2.2%	11.4%
カ 家計に必要な生活費を渡さない	82.1%	9.8%	2.2%	0.5%	5.4%	87.0%	1.1%	1.6%	10.3%
キ 嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	83.7%	9.8%	0.0%	0.0%	6.5%	83.7%	3.3%	1.1%	12.0%

(1)あなたの考え



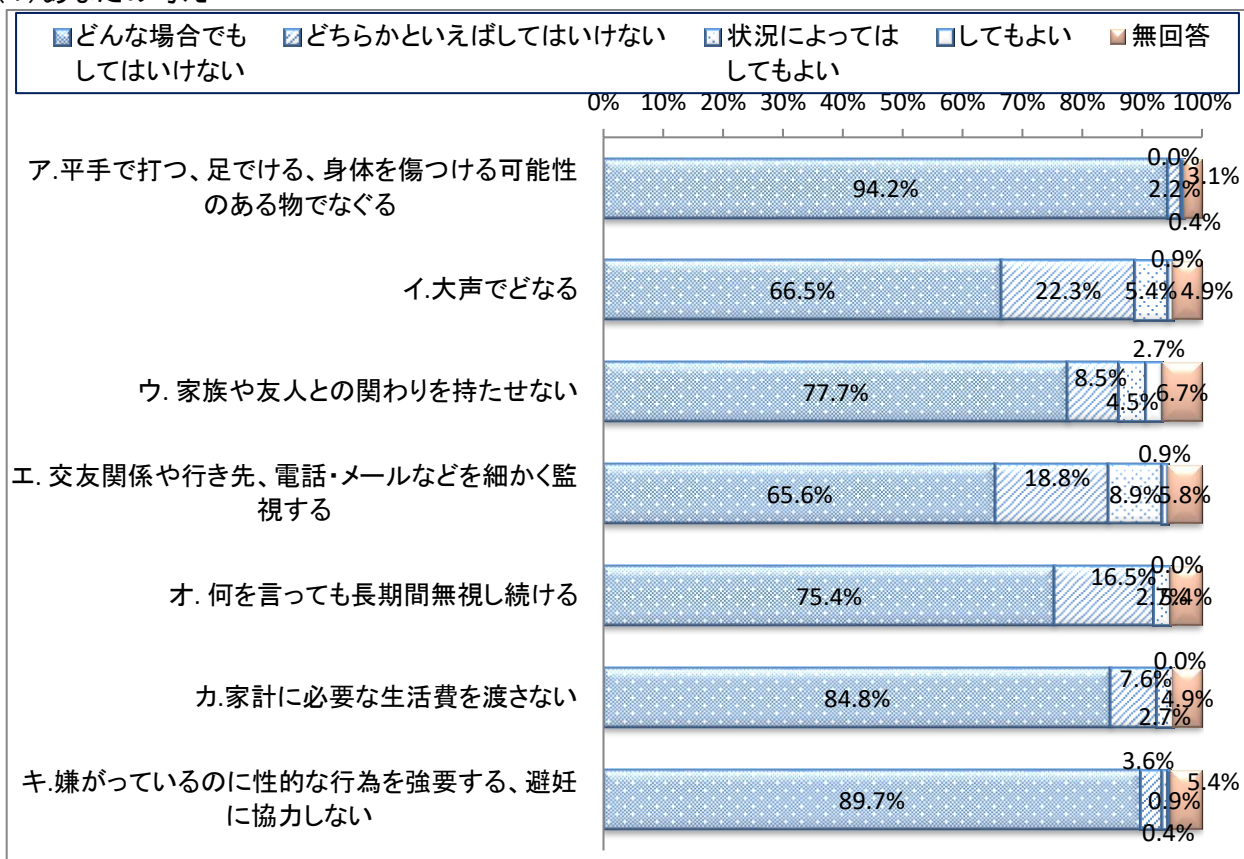
(2)受けたことがありますか。



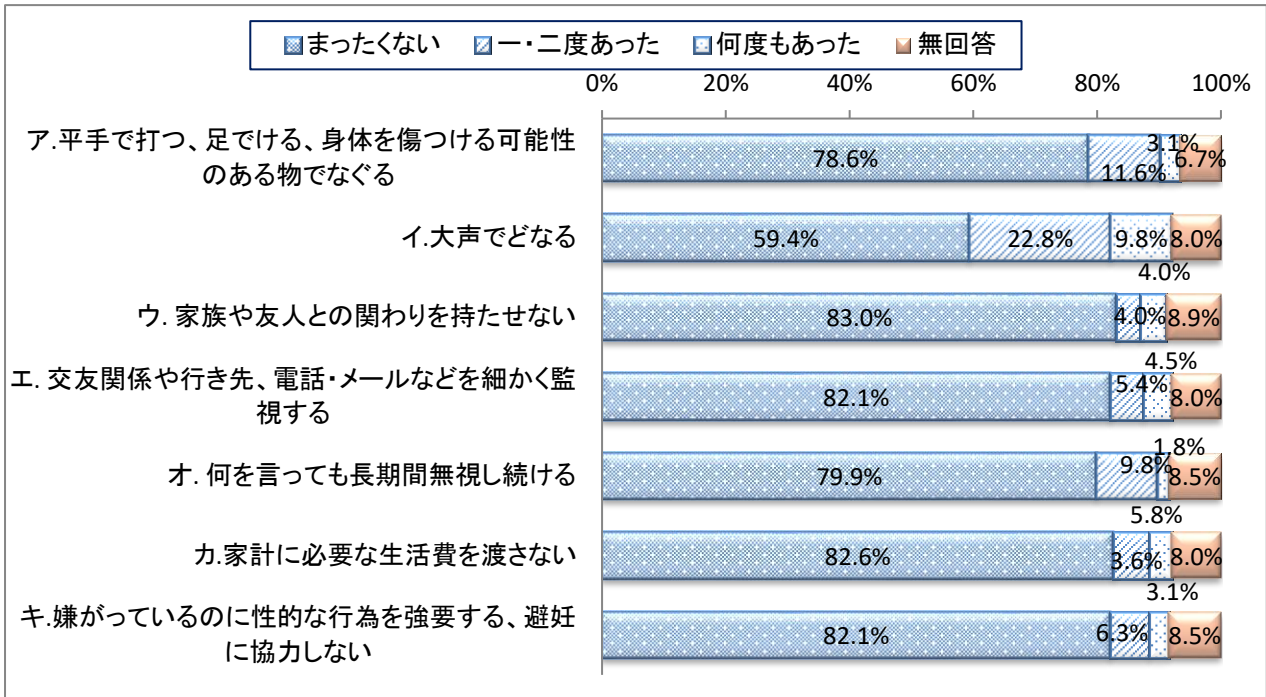
★女性

		(1)あなたの考え					(2)受けたことがありますか。			
	項目	どんな場合でも	どちらかといえははいけない	状況によっては	してもよい	無回答	まったくくない	一・二度あった	何度もあった	無回答
ア	平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなく	94.2%	2.2%	0.4%	0.0%	3.1%	78.6%	11.6%	3.1%	6.7%
イ	大声でどなる	66.5%	22.3%	5.4%	0.9%	4.9%	59.4%	22.8%	9.8%	8.0%
ウ	家族や友人との関わりを持たせない	77.7%	8.5%	4.5%	2.7%	6.7%	83.0%	4.0%	4.0%	8.9%
エ	交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	65.6%	18.8%	8.9%	0.9%	5.8%	82.1%	5.4%	4.5%	8.0%
オ	何を言っても長期間無視し続ける	75.4%	16.5%	2.7%	0.0%	5.4%	79.9%	9.8%	1.8%	8.5%
カ	家計に必要な生活費を渡さない	84.8%	7.6%	2.7%	0.0%	4.9%	82.6%	5.8%	3.6%	8.0%
キ	嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	89.7%	3.6%	0.9%	0.4%	5.4%	82.1%	6.3%	3.1%	8.5%

(1)あなたの考え



(2) 受けたことがありますか。



《分析》

(1) あなたの考え

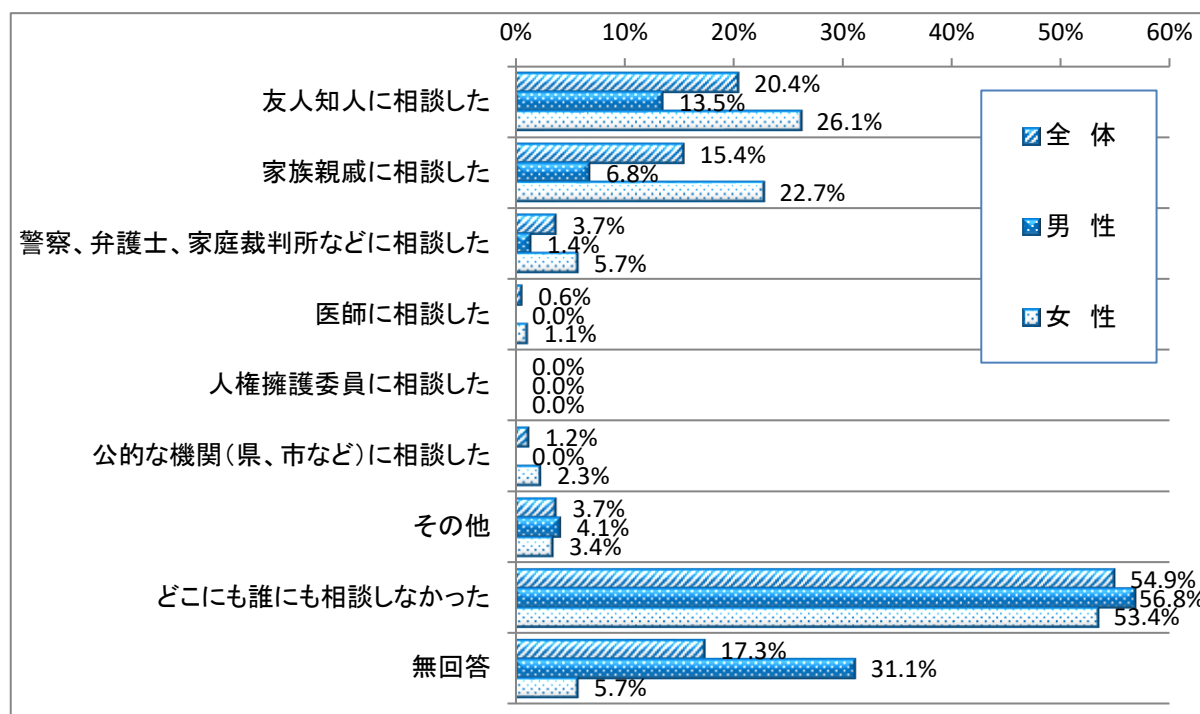
- ◆全体として、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「大声でどなる」(12.5%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(8.3%)が多くなっている。
- ◆女性では、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する」(9.8%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(7.2%)が多くなっている。
- ◆男性では、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「大声でどなる」(20.1%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(9.8%)が多くなっている。

(2) 受けたことがありますか

- ◆全体として、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.5%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(23.7%)が多くなっている。
- ◆女性では、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.8%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(22.8%)が最も多く、次に「平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなくる」(11.6%)が多くなっている。
- ◆男性では、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.2%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(25.0%)が最も多く、次に「何を言っても長期間無視し続ける」(12.5%)が多くなっている。

**【問14-1】 問14で、1項目でも「イ 1、2度あった」や「ウ 何度もあった」とお答えの方にお聞
 きます。それらを受けた時、あなたは誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
 (当てはまるものすべてに○してください)**

	項 目	全 体	男 性	女 性
1	友人知人に相談した	20.4%	13.5%	26.1%
2	家族親戚に相談した	15.4%	6.8%	22.7%
3	警察、弁護士、家庭裁判所などに相談した	3.7%	1.4%	5.7%
4	医師に相談した	0.6%	0.0%	1.1%
5	人権擁護委員に相談した	0.0%	0.0%	0.0%
6	公的な機関(県、市など)に相談した	1.2%	0.0%	2.3%
7	その他	3.7%	4.1%	3.4%
8	どこにも誰にも相談しなかった	54.9%	56.8%	53.4%
9	無回答	17.3%	31.1%	5.7%

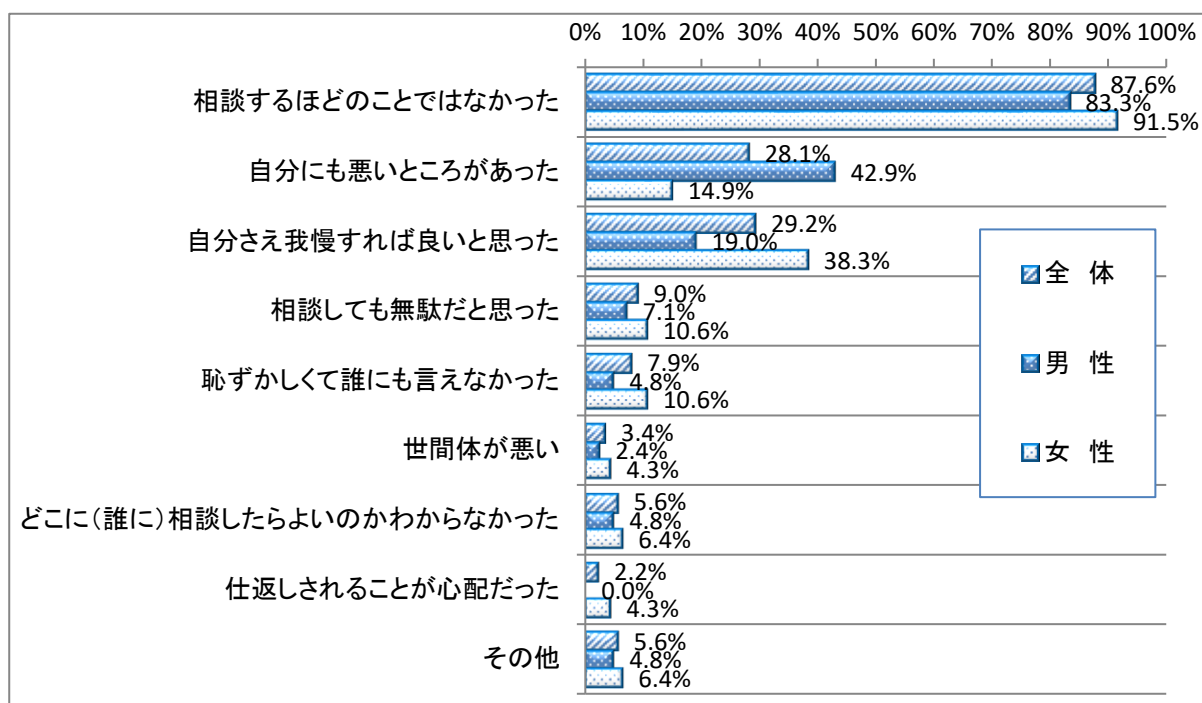


《分析》

- ◆全体として『どこにも誰にも相談しなかった』(54.9%)の割合が最も多くなっている。
- ◆女性では『どこにも誰にも相談しなかった』(53.4%)、『友人知人に相談した』(26.1%)、『家族親戚に相談した』(22.7%)の順で割合が多くなっており、男性では、『どこにも誰にも相談しなかった』(56.8%)、『友人知人に相談した』(13.5%)の順で割合が多くなっている。

【問14-2】 問14-1で「8 どこにも誰にも相談しなかった」とお答えの方におたずねします。
その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

	項目	全体	男性	女性
1	相談するほどのことではなかった	87.6%	83.3%	91.5%
2	自分にも悪いところがあった	28.1%	42.9%	14.9%
3	自分さえ我慢すれば良いと思った	29.2%	19.0%	38.3%
4	相談しても無駄だと思った	9.0%	7.1%	10.6%
5	恥ずかしくて誰にも言えなかった	7.9%	4.8%	10.6%
6	世間体が悪い	3.4%	2.4%	4.3%
7	どこに(誰に)相談したらよいのかわからなかった	5.6%	4.8%	6.4%
8	仕返しされるのが心配だった	2.2%	0.0%	4.3%
9	その他	5.6%	4.8%	6.4%
10	無回答	0.0%	0.0%	0.0%

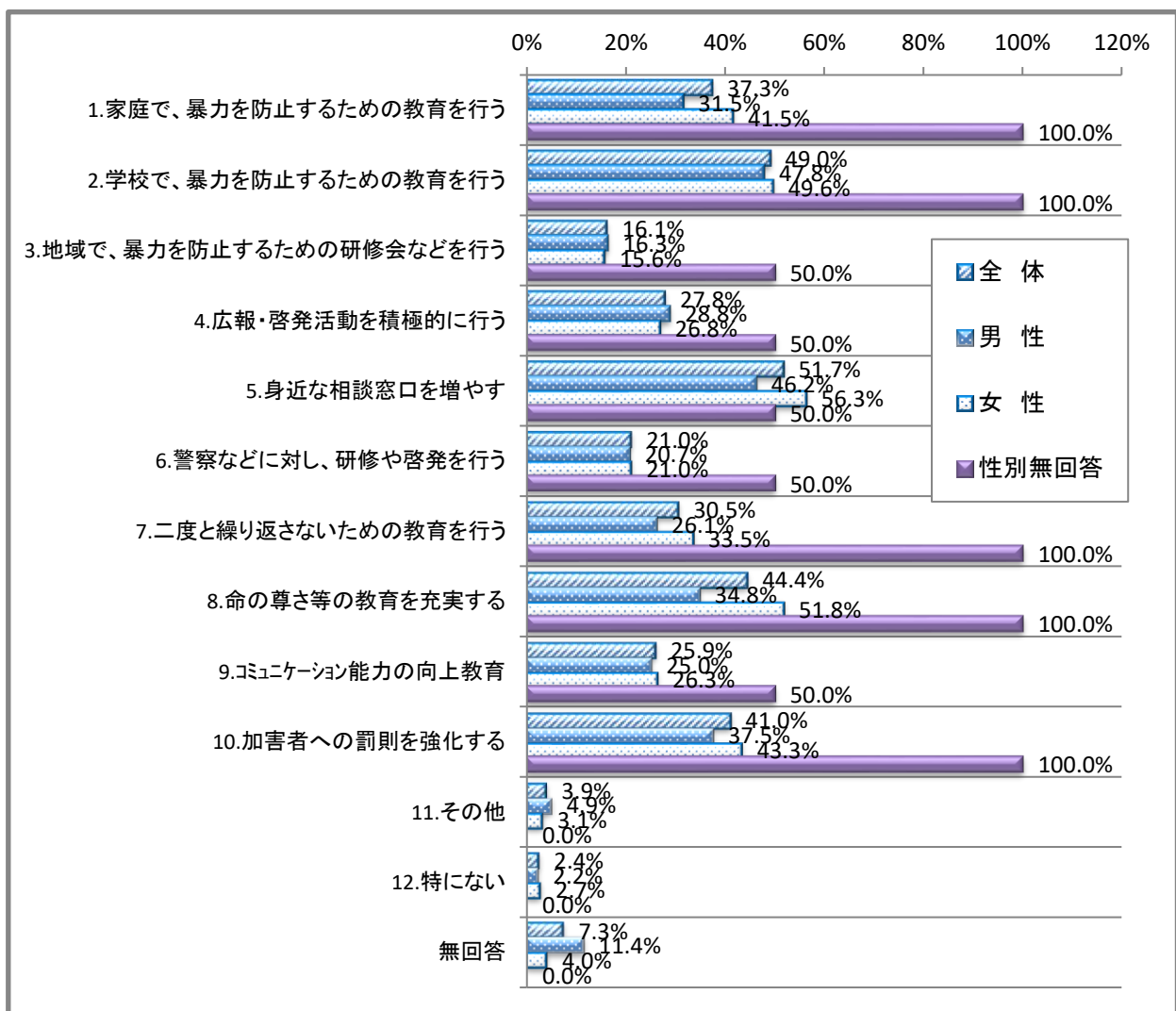


《分析》

- ◆全体として『相談するほどのことではなかった』(87.6%)の割合が最も多くなっている。
- ◆女性では『相談するほどのことではなかった』(91.5%)、『自分さえ我慢すれば良いと思った』(38.3%)、『自分にも悪いところがあった』(14.9%)の順で割合が多くなっており、男性では、『相談するほどのことではなかった』(83.3%)、『自分にも悪いところがあった』(42.9%)、『自分さえ我慢すれば良いと思った』(19.0%)の順で割合が多くなっている。

【問15】 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (○は5つまで)

	項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
1	家庭で、暴力を防止するための教育を行う	37.3%	31.5%	41.5%	100.0%
2	学校で、暴力を防止するための教育を行う	49.0%	47.8%	49.6%	100.0%
3	地域で、暴力を防止するための研修会・イベントなどを行う	16.1%	16.3%	15.6%	50.0%
4	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	27.8%	28.8%	26.8%	50.0%
5	身近な相談窓口を増やす	51.7%	46.2%	56.3%	50.0%
6	警察や医療関係者などに対する研修や啓発	21.0%	20.7%	21.0%	50.0%
7	加害者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	30.5%	26.1%	33.5%	100.0%
8	命の尊さや思いやりについての教育、学習機会を充実する	44.4%	34.8%	51.8%	100.0%
9	コミュニケーション能力を向上するための教育を行う	25.9%	25.0%	26.3%	50.0%
10	加害者への罰則を強化する	41.0%	37.5%	43.3%	100.0%
11	その他	3.9%	4.9%	3.1%	0.0%
12	特にない	2.4%	2.2%	2.7%	0.0%
14	無回答	7.3%	11.4%	4.0%	0.0%



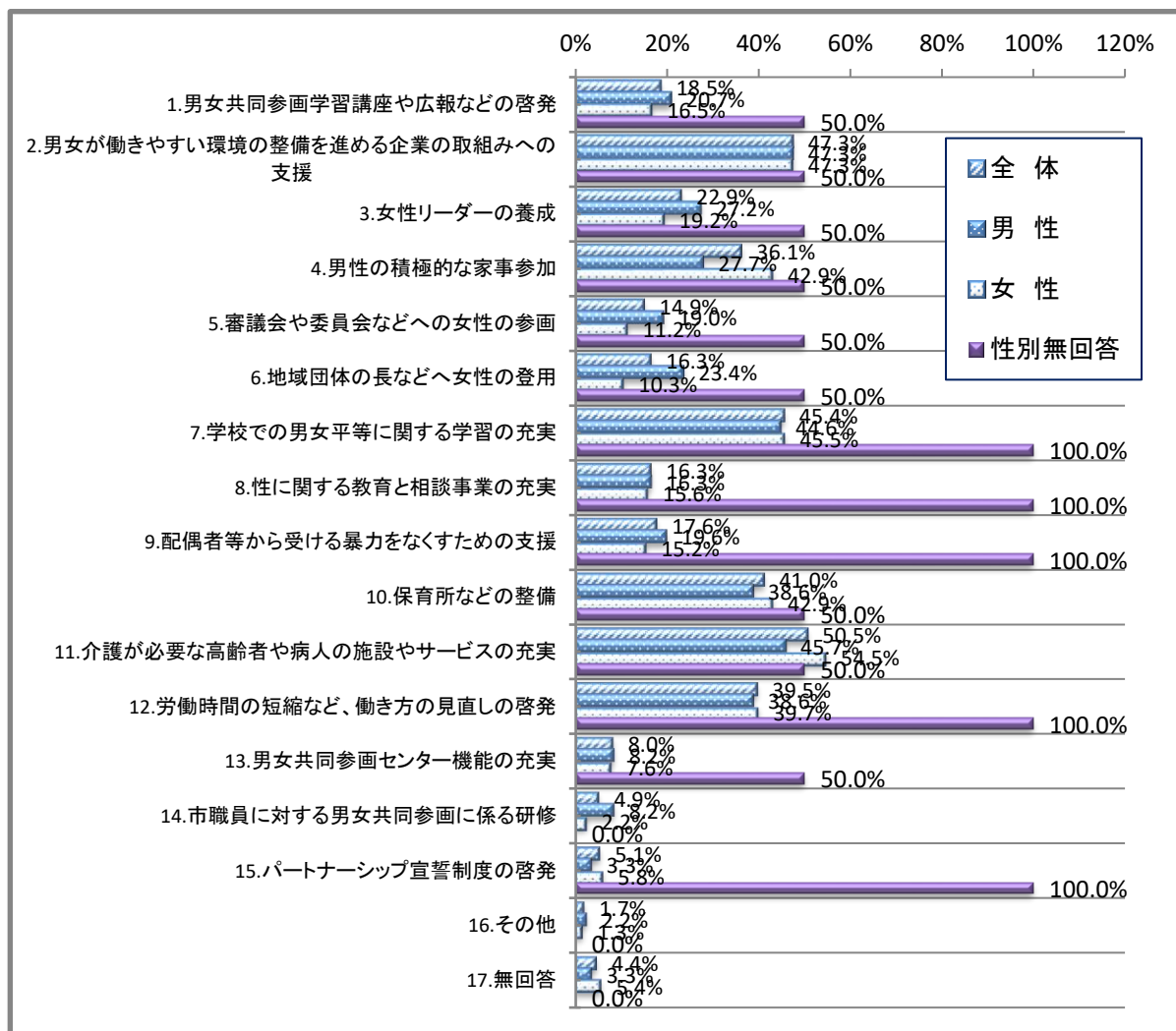
《分析》

- ◆全体として『身近な相談窓口を増やす』(51.7%)の割合が最も多くなっている。
- ◆女性では『身近な相談窓口を増やす』(56.3%)、『命の尊さや思いやりについての教育、学習機会を充実する』(51.8%)の順で割合が多くなっている。
- ◆男性では、『学校で、暴力を防止するための教育を行う』(47.8%)、『身近な相談窓口を増やす』(46.2%)の順で割合が多くなっている。

Ⅶ 今後の取り組みについて

【問16】 男女共同参画社会を実現するために、境港市はどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(〇は5つまで)

項目	全体	男性	女性	性別無回答
1 男女共同参画学習講座や広報などの啓発	18.5%	20.7%	16.5%	50.0%
2 男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取り組みへの支援	47.3%	47.3%	47.3%	50.0%
3 女性リーダーの養成	22.9%	27.2%	19.2%	50.0%
4 男性の積極的な家事参加	36.1%	27.7%	42.9%	50.0%
5 審議会や委員会などへの女性の参画	14.9%	19.0%	11.2%	50.0%
6 地域団体の長などへ女性の登用	16.3%	23.4%	10.3%	50.0%
7 学校での男女平等に関する学習の充実	45.4%	44.6%	45.5%	100.0%
8 性に関する教育と相談事業の充実	16.3%	16.3%	15.6%	100.0%
9 配偶者や恋人等から受ける暴力をなくすための支援	17.6%	19.6%	15.2%	100.0%
10 男女が共に働き続けるため、保育所などの整備	41.0%	38.6%	42.9%	50.0%
11 介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実	50.5%	45.7%	54.5%	50.0%
12 労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しの啓発	39.5%	38.6%	39.7%	100.0%
13 男女共同参画センター機能の充実	8.0%	8.2%	7.6%	50.0%
14 市職員に対する男女共同参画に係る研修	4.9%	8.2%	2.2%	0.0%
15 パートナーシップ宣誓制度の啓発	5.1%	3.3%	5.8%	100.0%
16 その他	1.7%	2.2%	1.3%	0.0%
17 無回答	4.4%	3.3%	5.4%	0.0%



《分析》

- ◆全体として『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(50.5%) (前回50.9%)の割合が前回同様に最も多くなっている。
- ◆女性では『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(54.5%)、『男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組みへの支援』(47.3%)の順で割合が多くなっている。
- ◆男性では、『男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組みへの支援』(47.3%)、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(45.7%)の順で割合が多くなっている。